



こいけ ゆき 小池 由起さん

家族の健康が一番の願い

地震のあと、すぐには原発事故の情報がほとんどなかったの、子どものオムツが全然なくて小さい子ども2人を連れていろいろな場所を探しました。後でいろいろ情報がわかるにつれ、どうして外に連れ出してしまったんだろうと自責の念に駆られました。それから子どもたちのために放射線に関する講演会を聞いたり、情報を得たりしました。

その中で北海道室蘭市の方から紹介してもらい室蘭市に親子3人で約1か月間一時避難をしました。子どもたちが体調を崩したり不安な日々を過ごしたことを今でも覚えています。

その後、国見町に戻りましたが心配性なこともあり、子どもをあまり外に出したりせず、長期休暇を利用して北海道で過ごす生活をしていました。下の子が甲状腺検査の結果が思わしくなかったこともあり不安でした。

しばらくして札幌市のボランティアの方から住み込みで働ける場所の紹介をいただき、平成26年の夏に札幌市に引っ越すことを決断しました。

実際に自分の車で札幌行きフェリーに乗り込んだ時には涙が出ました。やはり自分の生まれた場所を離れることはつらかったんだと思います。

札幌では福島から来たという差別もなく周りの人にも恵まれました。3年間札幌で暮らしましたが、私の父が体調を崩したことや子どもが帰りたいと言ったことがきっかけで国見町に戻ることになりました。戻ってからもできる範囲で気をつけながら生活をしています。また以前



子どもたちはガラスバッチを携帯

は気づかなかった、星がきれいなことやのどかな雰囲気などこの町の良さを再認識しています。

避難したことや町に戻ってきたことに後悔はありません。父をはじめさまざまな人たちに支えられてきたので本当に感謝の気持ちでいっぱいです。これからもみんなが健康でいられることが一番の願いで、私自身も長生きして将来孫の世話をしたいと思っています。



放射線に関する講演会

国見町の米、農業を守っていく

原発事故による農作物の影響は大きいものがありました。果樹は放射能の線量を下げるために真冬の寒い中、自分たちですべての樹木の枝を高圧洗浄機で洗浄しました。

稲は根から放射性物質を吸収するため、田んぼにケイ酸カリとゼオライトを散布し、深耕してから田植えをしました。地域ごとに班編成をして町内の水田全部の約500ヘクタールをやりました。当時は、とにかくやるしかありませんでした。

「本当にこれで大丈夫なのか、米はまた売れるようになるのか」と不安だったのを覚えています。それから毎年全量全袋検査をして出荷しましたが、今度は風評被害の問題でした。震災の前から福島県の推奨米で「天のつぶ」を試験的に作ってきました。ちょうどこの年から正式に販売がはじまるころでしたが、すべて振り出しに戻ってしまいました。

国見の米は本当にうまい。自信を持って出せる米です。しかし、売れずにほとんどが外食向けにまわりました。最近はややくおいしさで買ってもらえるようになり本当にうれしいです。

国見町の基幹産業は農業です。これからも道の駅を中心として農産物のPRをして風評被害をなくしていきたいです。



小坂アグリ株式会社 代表取締役 朽木 勝之さん



米の全量全袋検査



水田の吸収抑制対策

全国の自治体から国見町の復興のために応援職員が来てくれました



みやぎ しょうぞう 宮城 昭三さん

千葉県君津市総務部職員課 副主査
平成25年4月～平成29年3月
技術職員として道の駅国見あつかしの郷、役場庁舎の建設を担当



たなか よしひこ 田中 良彦さん

福岡県筑後市建設部上下水道課 主幹
平成24年7月～9月
土木関係の災害復旧を担当



にほんぎ ささる 二本木 優さん

福岡県筑後市建設部上下水道課 主査
平成24年4月～6月
土木関係の災害復旧を担当



しまだ けいこ 嶋田 圭悟さん

京都府京丹後市上下水道部普及推進料金課 主任
平成23年10月～平成24年3月
町税の減免などを担当



おおた てるみ 太田 輝美さん

岐阜県池田町水道部水道課 課長補佐
平成23年9月～平成24年5月
公共下水道の災害復旧を担当



まかべ けんじ 真壁 賢治さん

大阪府吹田市下水道部水循環室下水道総務課 主幹
平成23年9月～平成24年6月
公共下水道の災害復旧を担当



きただ せいじ 北田 誠治さん

三重県津市建設部津北工事事務所 主査
平成23年8月～平成24年3月
土木関係の災害復旧を担当



たかざわ しんや 高澤 伸弥さん

埼玉県都市整備部建築安全課 技師
平成23年7月～8月
罹災証明発行のための家屋の被害状況判定を担当



北海道栗山町のみなさん

北海道栗山町保健師4名、サポート職員4名
平成23年5月～6月
交代で被災した世帯の訪問健康相談や指導を担当



なかの まもる 永野 衛さん

千葉県柏市都市部建築指導課 建築技師
平成23年4月～6月
罹災証明発行のための家屋の被害状況判定を担当

※派遣当時の所属を記載しています。